

## 平成24年度（第66年度）事業報告

平成24年度は「公益財団法人」に移行して2年度目、23年度から始まった「公益財団法人構造改革3カ年計画」の2年目にあたります。従いまして平成24年度事業報告は構造改革3カ年計画の最終年度にあたる平成25年度の最終目標として掲げた2つの計画が目標通りに進んでいるか否かの視点でご報告申し上げます。

始めに第一の目標である「生活習慣病をこの世の中から撲滅する為」にこれまでに三越厚生事業団として実施してきたすべての事業を今後に向けて再整備するという計画の進捗状況についてご報告いたします。

「今後に向けての事業の再整備」は以下の3つであります。

- ① 健診事業は「量」から「質」への転換をはかること
- ② 診療事業は生活習慣病に関する専門性を明確に打ち出して受診者数を増やすこと
- ③ その他の公益事業は今後継続・強化する事業、縮小・廃止する事業を峻別していくこと

健診事業の「量」から「質」への転換については24年度の事業計画の中で「先進的な健診検査項目の導入」、「健診精度の向上」、「迅速なフォローによる他の施設にない高質且つ信頼性の高い健診事業の推進」を掲げました。

この内「健診精度の向上」については長年にわたり健診現場における事故とヒヤリハットの撲滅に取り組んでまいりました。結果として24年度の事故防止委員会の報告によりますと、臨床検査部・保健部・健診事務部の健診事業3部門の合計では事故は7件（昨年対比▲2件）、ヒヤリハットは9件（昨年対比▲40件）と飛躍的に改善しております。また、重大な事故は昨年同様1件もありませんでした。

また「迅速なフォローによる他施設にない高質且つ信頼性の高い健診事業の推進」を目指して「ペースメーカー埋め込み者に対するレントゲン検査の対応」、「ピロリ菌検査における尿素呼気試験について」、「健診中の体調不良者の対応マニュアルの改訂」、「CT検査時、造影剤による副作用が出た場合の対応のマニュアル作成」等を実施いたしました。

ただし「先進的な健診検査項目の導入」については具体的な対応には至りませんでした。近年ニーズの高い乳線のエコー検査導入を視野に入れて放射線技師2名、臨床検査技師6名の教育をスタートさせました。

次に診療事業において、生活習慣病に関する専門性を打ち出し受診者数を拡大することについては10数回にわたる「事業団の方向性検討会」で討議を重ねましたが専門外来開設等の具体的な動きまでには至りませんでした。

24年度は患者数こそ7年ぶりに前年を上回りましたが診療収入は7年連続して前年

割れを続けています。公益財団法人は営利を目指すものではありませんが、生活習慣病の領域でより多くの方々に当診療所をご指名頂けるような診療科目を開設することを具体的な目標にして更に検討を進めて参ります。

最後に「その他の公益事業を継続・拡大する事業と縮小・廃止する事業に峻別する」ことについては総じて縮小傾向というのが実情でした。

その背景には事業団経営の厳しい状況でその他の公益事業に十分な経費を振り向けられなかったということもあります。そうした状況の中で健康啓蒙活動については限られた経費で、より効果的な啓蒙活動に取り組んで行こう！という計画を24年度中に練り上げて25年度から様々な新しい健康啓蒙活動を展開しております。

## 平成24年度事業報告

### I 事業運営に関する事項

#### 【1】生活習慣病の疾病の病因・診断・治療及び予防に関する調査研究のための健診並びに診療事業（定款第4条第1号・第2号・第5号事業）

##### 1. 健診・診療事業の受診者状況

###### (1) 健診・診療事業

- ・当事業団の根幹の事業である健診・診療事業を展開することにより本年度も年間34,000件余の受診者データを収集することが出来ました。このデータをもとに生活習慣病とその他疾病の予防や病因解明の研究にあたりると共に健康啓蒙活動や健康相談にもデータを活用し事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」の為の啓蒙・普及活動を積極的に推進いたしました。
- ・健診事業においては24年度から新たに10社の健診を受け入れたことにより2年連続して健診受診者延べ人数は増加しました。
- ・診療事業においては23年度の施策として取り上げた「胃部内視鏡検査日の拡大」や「腹部・心臓超音波検査の奨励」の成果が1年後にようやく出始めたことや冬期に事業団の入居するエステックビルのテナント企業に対するインフルエンザ予防注射接種の呼び掛け効果もあり7年ぶりに診療患者延べ人数は前年を上回りました。
- ・以上の結果、平成24年度の健診・診療事業の受診者数は以下のとおりとなりました。

###### 〈健診事業〉

###### ○健診受診者延べ人数

・生活習慣病健診	11,207名（前年度 10,834名）
・雇用時健診・定期健診	2,445名（前年度 2,278名）
・新宿区・中野区成人病健康検査	883名（前年度 938名）
計	14,535名（前年度 14,050名）

###### 〈診療事業〉

###### ○診療患者延べ人数

###### ①内訳

・内科	18,740名（前年度 18,517名）
・予防注射	884名（前年度 796名）
・精密検査	241名（前年度 341名）
計	19,865名（前年度 19,654名）

## ②種目別内訳とその適用患者数

・国民健康保険	8,464名(前年度 8,476名)
・社会保険(政府管掌)	1,466名(前年度 1,525名)
・社会保険(組合管掌)	8,019名(前年度 7,838名)
・社会保険(その他)	597名(前年度 557名)
・自費	1,078名(前年度 917名)
計	19,624名(前年度 19,313名)

## (2) 社会福祉施設

前年度は公募により選定した東京都内に所在する社会福祉法人の老人施設を対象に入居している高齢者の健康維持、健康増進の為の研究を行う為に3施設(152名)の無料巡回健診を実施いたしました。3年間の研究期間が満了となった為に、24年度は研究の取り纏めの年度といたしました。

## 2. 当事業団医師並びに職員による研究活動

### (1) 臨床検査、エックス線検査の統計調査

平成23年度(23年4月～24年3月)に実施した臨床検査項目別の統計、消化器・胸部エックス線検査、エコー検査、CT検査等の撮影実数統計等は「事業年報」第39号に掲載し、関係医師団体、諸官庁、各職域健康保険組合及び関連財団法人等200団体に配布いたしました。

### (2) 平成24年度の所内研究(発表会開催)

- 実施日 平成25年4月24日(水)
- 会場 5階 三越総合健診センター
- 発表内容 以下の13題

- ① 乳癌健診二次検査受診率向上のために
- ② 三越診療所における便潜血反応検査の再検査/精密検査結果状況について
- ③ 高尿酸血症におけるフェブキソスタット製剤の効果と比較
- ④ e-GFRのステージ分類における年代別健診データの関係について
- ⑤ 特定健診問診票から見た食行動と身体・血液データの関連について
- ⑥ 胃内視鏡検査時における前処置剤プロナーゼRMSの使用法の検討とその効果
- ⑦ 血液データに異常のない脂肪肝と非脂肪肝
- ⑧ 超音波検査をもちいた脂肪肝に於ける肝体積の検討
- ⑨ 用度品・備品・消耗品類のコスト削減へ向けた取り組みと運用基準の見直し
- ⑩ 新宿区健診各部署との関わり
- ⑪ 診療事務部として受診率の増加について考える
- ⑫ 外来頭痛患者における頭痛病型と飲酒
- ⑬ BNP、高感度CRP、インスリンと心機能の関連について

(3) 学会発表、論文寄稿、講演活動等について

①学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題	開催地
近藤 修二	4月	第109回日本内科学会講演会	ストレスの心機能に与える影響について (第2報)	京都
横山雅子、他	5月	第53回日本神経学会総会	パソコン作業時間、残業時間と頭痛の 病型別検討	東京
横山雅子、他	9月	第53回日本人間ドック学会学術大会	パソコン作業時間、残業時間と頭痛 ー病型別検討ー	東京
船津和夫、他	9月	第53回日本人間ドック学会学術大会	脂肪肝と高血圧発症に関する 縦断的調査	東京
毛利恭子、他	9月	第53回日本人間ドック学会学術大会	T-Bilとhs-CRP 及び他の健診検査項目	東京
船津和夫、他	1月	第41回日本総合健診医学会大会	非飲酒者における脂肪肝と高血圧発症に 関する縦断的研究	仙台
H.Nakamura、 K. Mizuno	3月	第77回日本循環器学会	The hyper HDL-cholesterolemic patients and the incidence of cardiovascular and cancer events : the post-hoc analysis of MEGA study	横浜
中村 治雄	3月	第77回日本循環器学会	心臓を長持ちさせるための食事とは (市民公開講座)	横浜

②外部講演会 (医師、医療従事者、製薬会社等)

氏名	参加月	名称	演題	開催地
船津 和夫	4月	製薬会社社員教育勉強会	コーヒーと生活習慣病 (脂肪肝、高血圧、糖尿病)	東京
山下 毅	6月	西新宿保健センター講演	たるんだお腹はなぜできる？	東京
横山 雅子	9月	中野区薬剤師学会学術講演会	頭痛臨床の医薬連携	東京
船津 和夫	10～ 1月	企業社員勉強会 第1回～第4回	上手な食生活と運動 若年女性のやせと健康障害	東京
船津 和夫	12月	製薬会社MR実践研修会	PPIと逆流性食道炎	東京
山下 毅	12月	落合保健センター講演	メタボリックシンドローム予防教室 動脈硬化を防ごう！	東京
横山 雅子	2月	西新宿睡眠研究会	睡眠と頭痛について	東京

③当事業団医師の発表論文、その他雑誌等

論 文 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名
乳がんの screening	山下 毅	クリニシアン 2012 no.611 Vol. 59, 730-732
共助を意識した一般市民と地域医療従事者が行う応急救護所における多数傷病者対応訓練	武田宗和、船津和夫、他	日本集団災害医学会誌:17:472-477,2012
コーヒーは死亡リスクを減らす	船津 和夫	新宿区新聞
ヘルシービューティーの必修科目 健康診断の上手な活用法	船津 和夫	ヘルシービューティー 2012. Autumn 10:3-5
Interactions between migraine and tension-type headache and alcohol drinking, alcohol flushing, and hangover in Japanese	Yokoyama M, Suzuki N Yokoyama T, Funatsu K Shimizu T, Shibata M	J Headache pain (2012)13:137-145
正しい知識を身につけて頭痛と上手に付き合おう	横山 雅子	CREA(24年9月号)p72-73

【2】生活習慣病等の疾病の予防及び健康保持増進のための事業(定款第4条第2号事業)

(1) 生活習慣病健診報告懇話会

24年度は「業種別健診結果データの違いから見える生活習慣病の特徴」をテーマに講演をしました。また近年、健診受託企業様の関心の高い「乳がん検診」について当診療所の疾病発見事例を中心に報告しました。報告会では参加企業の健診担当の方々から様々な健診事業に対するご要望やご意見を頂戴しました。また報告会で配布したアンケートに対して後日、17名の方々から今回の報告会の感想やご意見、今後の報告会へのご要望等をいただきました。

実 施 日 平成24年11月29日(木)

会 場 エステック情報ビル21階「会議室A」、4階「AGORA」

参加人数 28事業所 43名

報 告 会 「業種別の健診結果データの違いから見える生活習慣病の特徴」  
「乳がん検診のお勧め」

講 師/山下 毅 (三越厚生事業団 三越診療所 所長)

## (2)健康イベント等の自主開催

「食と健康」をテーマとした受講者参加型の健康イベントを2回開催しました。

### ①第3回 10月12日(火) 午前11時～午後1時20分

会場：女子栄養大学構内4号館 5階「松柏軒」

演題：「下げよう中性脂肪」

講師：布川かおる（三越診療所 管理栄養士）

食事：「中性脂肪を考えるお食事」

松柏軒料理長 宮田 寛敬氏による料理解説

参加者：36名

### ②第4回 1月25日(金) 午前11時～午後1時20分

会場：女子栄養大学構内4号館 5階「松柏軒」

演題と講師：

講演1 「尿酸の値の意味」 横山 雅子（三越診療所 副所長）

講演2 「防ごう！尿酸の増加」 布川かおる（三越診療所 管理栄養士）

食事：「尿酸を考えるお食事」

参加者：50名

## 【3】生活習慣病等の疾病の予防・診断・治療に関する啓蒙、啓発及び普及事業

（定款第4条第3号事業）

### 1. 健康セミナー・健康講座の開催

事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」に繋がる演題を設定し、新聞媒体等のより広く一般の方々からの参加者を募集する健康セミナー・健康講座を開催しました。

#### 〈平成24年度開催結果〉

回数：年間4回(健康セミナー2回、健康講座2回)

前年5回(健康セミナー2回、健康講座3回)

参加者数：延べ 830名(前年 1227名)

・内容は以下のとおり

#### (1) 健康セミナー

##### ①第37回健康セミナー

開催日時：5月25日(金) 午後1時～午後3時50分

会場：日本橋三越本店 6階 三越劇場

主催：公益財団法人 三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「脂質異常症とは ～最近の注目点～」

講師 中村 治雄（三越厚生事業団 常務理事）

第2部講演：演題「脂質異常症治療の具体的方法について」

講師 多田 紀夫氏（東京慈恵会医科大学附属柏病院内科  
総合診療部教授）

参加人員：270名

②第38回健康セミナー

開催日時：11月13日(火) 午後1時～午後2時30分

会場：日本橋三越本店 6階 三越劇場

主催：公益財団法人 三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講演内容：演題「メタボリックシンドロームと動脈硬化

～その予防と治療～

講師 平野 勉氏（昭和大学医学部内科学講座 糖尿病

・代謝・内分泌内科部門 主任教授）

参加人員：220名

(2) 健康講座

①第36回健康講座

開催日時：9月11日(火) 午後2時30分～午後3時50分

会場：野方区民ホール 野方WIZ B2F

主催：公益財団法人 三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演内容：演題「動脈硬化とは？」

～密かに進行する疾患とリスクファクターの関係～

講師 細合 浩司（三越厚生事業団 三越診療所副所長）

参加人員：184名

②第37回健康講座

開催日時：3月21日(木) 午後2時30分～午後3時50分

会場：野方区民ホール 野方WIZ B2F

主催：公益財団法人 三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演内容：演題「長生きの秘訣」

講師 中村 治雄（三越厚生事業団 顧問）

参加人員：156名



## 2. 生活習慣病予防の啓発、広報活動

### (1) 事業年報の作成・配布

平成23年度(平成23年4月～平成24年3月)に実施した集団健診、診療等の統計調査と観察結果を「事業年報」第39号に取り纏め職域健康保険組合及び企業関係者、関係医療団体(病院・研究機関)、関連社団法人・財団法人等に配布しました。

### (2) 三越厚生事業団ホームページによる情報発信

公益財団法人の認定を機に24年2月に全面刷新したホームページを活用し、公益財団法人としての経営情報の開示、公益活動の紹介等をリアルタイムに行いました。

## 【4】生活習慣病等の予防、診断、治療に関する研究助成並びに研究者への各種助成事業（定款第4条第4号事業）

### 1. 平成24年度 第40回三越医学研究助成

生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内並びに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に生活習慣病とその治療を中心とした研究課題について広く公募し助成対象者を選抜して助成金を交付しました。

24年度の応募総数は11件で、その中より厳正な審査を経て受賞者3名を決定しました。

#### ●募集・選考日程

- ・ 4月 6日(金)『募集研究課題設定委員会』を開催し研究課題決定  
公募を開始(募集締め切り7月末)
- ・ 8月17日(金)審査員を決定し『審査委員会』を設置
- ・ 9月10日(月)『助成選考委員会』を開催し助成対象者、助成金額を決定
- ・ 11月13日(火)三越医学研究助成贈呈式 開催

#### ①研究課題の決定

研究課題1 「動脈硬化の surrogate biological marker についての研究」

研究課題2 「NASH・NAFLD と動脈硬化」

研究課題3 「冠動脈疾患の予防と治療」

#### ②審査委員会による応募課題審査

(審査委員)

審査委員長 中村 治雄 (三越厚生事業団 顧問)

審査委員 吉田 博 氏 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 副院長)

代田 浩之氏（順天堂大学大学院医学研究科循環器  
内科学 教授）  
大鈴 文孝氏（東京都食品健康保険組合健康管理  
センター 所長）  
福田 恵一氏（慶應義塾大学医学部循環器内科教授）  
山下 毅 （三越厚生事業団理事・三越診療所長）  
船津 和夫 （三越厚生事業団・医師）

〈審査・選考〉

研究課題テーマ毎に専門分野の審査員を選任し評価を行いました。  
評価にあたっては応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして  
総合点により上位者を助成対象者としましたが、研究課題3については  
総合点が一定基準に達していなかった為、対象者「なし」といたしました。

### ③助成選考委員会

審査委員会による審査結果を受けて『助成選考委員会』を開催し助成対象者  
及び助成金額を決定しました。

### ④三越医学研究助成贈呈式

11月13日（火）日本橋三越本店6階 三越劇場及び特別食堂にて  
三越医学研究助成贈呈式、受賞記念パーティを開催いたしました。

⑤24年度の助成対象者は以下のとおり。

### 第40回 三越医学研究助成対象者

氏名	所属機関	課題	研究課題	助成金
池森 敦子	聖マリアンナ医科大学 解剖学機能組織講師	1	生活習慣病における動脈硬化病変の 早期診断に有用な尿バイオマーカーの開発 ～L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)に 注目して	129万円
足立 健	防衛医科大学校 内科学講座教授	2	脂肪肝による血管内皮障害の分子機構～ 代謝と酸化ストレスの関与	300万円

（注）研究課題1 「動脈硬化の surrogate biological marker についての研究」

研究課題2 「NASH・NAFLD と動脈硬化」

## 2. 平成24年度 第13回三越海外留学渡航費助成

海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者で留学先受入研究機関が決ま  
っている者、若しくは海外留学中で留学受入先の研究指導者の推薦がある者に対し  
留学費用の一部として渡航費の助成を行いました。24年度は選考の上、5名の  
受賞者を決定し夫々に助成金を交付しました。

●募集・選考日程

- ・ 4月10日（火） 公募開始(募集締め切り6月末)
- ・ 7月20日（金） 『助成選考委員会』を開催し助成対象者を決定
- ・ 8月24日（金） 助成金を贈呈

●24年度の助成対象者は以下のとおり。

第13回 三越海外渡航費助成対象者

氏名	所属機関	留学先	研究課題	助成金
加藤 浩司	日本医科大学内科学 循環器・肝臓・老年 総合病態部門	マサチューセツ 総合病院	光干渉断層法(OCT)を用いた 不安定プラークの同定、その発 症メカニズムの解明および予後 予測因子の同定	50万円
森 信好	聖路加国際病院 臨床研究員	テキサス州立大学 MDアンダーソン がんセンター	MD アンダーソンがんセンター(MDA)に おける多剤耐性菌(MDROs)によ る血流感染症の有病率とリファキシ ミン(RFX)の in vitro 感受性につい ての研究	50万円
橋本 浩平	慶応義塾大学 大学院医学研究科 外科学教室	トロント大学 ラトナー胸部 外科研究所	新世代の肺移植の展開 Ex-vivo lung perfusion に 関する研究	50万円
石川 哲大	千葉大学大学院 卒業	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	Schwann cell における LRP-1 の神経障害性疼痛への関与 機構の解明	50万円
青山 和由	国立成育医療研究 センター 手術集中治療部	トロント大学 医学部 集中医学講座	集中治療を要する産科重症患者 における患者および胎児予後へ の影響因子[カナダ全土をカバーす る大規模データベース解析研究]	50万円

## II. 管理・運営事項

### 1. 理事会・評議員会の開催

#### (1) 理事会の開催

##### ①第5回 理事会

- ・開催日 平成24年6月12日(火)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成23年度事業報告書、正味財産増減計算書・  
貸借対照表及びその附属明細書、財産目録 承認の件  
第2号議案 理事改選に伴う理事候補者選定の件  
第3号議案 平成24年 第3回定時評議員会開催の件  
報告事項として代表理事と業務執行理事の業務執行状況報告を行いました。

##### ②第6回 理事会

- ・開催日 平成24年6月26日(火)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 理事長(代表理事)選定の件  
第2号議案 常務理事(業務執行理事)選定の件  
第3号議案 理事報酬の件  
第4号議案 退任理事に対する退職手当支給並びに記念品贈呈の件  
第5号議案 顧問委嘱の件

##### ③第7回 理事会

- ・開催日 平成24年12月4日(火)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 24年度上半期業績報告の件  
第2号議案 代表理事、業務執行理事の業務執行状況報告の件  
第3号議案 減価償却引当資産額(特定資産)変更の件  
第4号議案 臨時評議員会開催の件

##### ④第8回 理事会

- ・開催日 平成25年3月22日(金)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成25年度事業計画案および収支予算案審議の件  
第2号議案 常務理事(業務執行理事)選定の件  
第3号議案 理事報酬の件  
第4号議案 事務局長選任の件

#### (2) 評議員会の開催

##### ①第3回 定時評議員会

- ・開催日 平成24年6月26日(火)

- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成23年度事業報告書、正味財産増減計算書・  
貸借対照表及びその附属明細書、財産目録承認の件  
第2号議案 理事選任の件

②第4回 臨時評議員会

- ・開催日 平成25年3月22日(金)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成25年度事業計画案および収支予算案承認の件

2. 業務事項

- ①平成24年6月29日 平成23年度事業報告書・決算書を東京都に提出  
(電子申請)
- ②平成24年7月31日 理事改選に伴う理事変更届出書を東京都に提出  
(電子申請)
- ③平成25年3月28日 平成25年度事業計画書・収支予算書を東京都に提出  
(電子申請)

3. 報告事項

(1) 外部監査の実施 (アーク監査法人)

- ①平成24年5月14日(月)～16日(水) 23年度 期末決算監査
- ②平成24年5月23日(水) 監事への監査結果報告
- ③平成24年9月18日(火)～19日(水) 期中取引検証
- ④平成25年2月18日(月)～19日(火) 期中取引検証
- ⑤平成25年3月29日(金) 試薬棚卸・現金実査・立会い

(2) その他

平成25年度が事業団の中期3か年計画の最終年度になることから、8月より常務会メンバーによる「事業団のあるべき姿検討会」を3か月に亘り開催し、25年度の最重点課題の事業団運営の安定化の為の構造改革案を取り纏めた上で25年度の事業計画を立案した。

# 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	83,801,654	60,884,823	22,916,831
未収入金	50,889,272	56,414,125	▲ 5,524,853
貯蔵品	680,485	829,563	▲ 149,078
前払費用	13,909,865	14,229,493	▲ 319,628
流動資産合計	149,281,276	132,358,004	16,923,272
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	18,560,915,856	13,285,132,704	5,275,783,152
基本財産合計	18,560,915,856	13,285,132,704	5,275,783,152
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	50,000,000	108,504,225	▲ 58,504,225
公益事業基金	223,400,000	178,355,000	45,045,000
器具備品	4,723,552	8,102,147	▲ 3,378,595
特定資産合計	278,123,552	294,961,372	▲ 16,837,820
(3) その他固定資産			
建物造作	78,029,993	82,359,764	▲ 4,329,771
建物付属設備	24,079,173	29,933,989	▲ 5,854,816
器具備品	1,456,523	2,274,518	▲ 817,995
リース資産	12,036,958	19,089,704	▲ 7,052,746
敷金・保証金	92,092,188	92,092,188	0
投資有価証券	235,868,000	181,241,000	54,627,000
その他固定資産合計	443,562,835	406,991,163	36,571,672
固定資産合計	19,282,602,243	13,987,085,239	5,295,517,004
資産合計	19,431,883,519	14,119,443,243	5,312,440,276
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	2,775,077	3,140,767	▲ 365,690
未払金	29,281,941	21,528,753	7,753,188
リース債務	5,876,857	9,010,421	▲ 3,133,564
未払消費税等	3,116,200	1,903,700	1,212,500
預り金	3,877,199	4,373,905	▲ 496,706
仮受金	0	45,185	▲ 45,185
賞与引当金	14,435,250	20,255,363	▲ 5,820,113
流動負債合計	59,362,524	60,258,094	▲ 895,570
2. 固定負債			
リース債務	6,222,702	12,099,559	▲ 5,876,857
退職給付引当金	79,798,000	90,534,000	▲ 10,736,000
役員退職慰労引当金	900,000	20,204,000	▲ 19,304,000
固定負債合計	86,920,702	122,837,559	▲ 35,916,857
負債合計	146,283,226	183,095,653	▲ 36,812,427
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	5,442,964	7,132,261	▲ 1,689,297
投資有価証券	18,560,915,856	13,285,132,704	5,275,783,152
指定正味財産合計	18,566,358,820	13,292,264,965	5,274,093,855
(うち基本財産への充当額)	(18,560,915,856)	(13,285,132,704)	5,275,783,152
(うち特定資産への充当額)	(5,442,964)	(7,132,261)	▲ 1,689,297
2. 一般正味財産	719,241,473	644,082,625	75,158,848
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(272,680,588)	(287,829,111)	▲ 15,148,523
正味財産合計	19,285,600,293	13,936,347,590	5,349,252,703
負債及び正味財産合計	19,431,883,519	14,119,443,243	5,312,440,276

# 正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	136,678,320	95,860,687	40,817,633
基本財産受取利息	0	185,863	▲ 185,863
基本財産受取配当金	136,678,320	95,674,824	41,003,496
② 特定資産運用益	8,531,781	5,540,750	2,991,031
特定資産受取利息	8,531,781	5,540,750	2,991,031
③ 生活習慣病事業収益	509,605,237	511,590,655	▲ 1,985,418
健診研究事業収益	356,326,519	354,172,393	2,154,126
生活習慣病健診収益	294,201,792	291,738,824	2,462,968
雇用時健診収益	6,851,270	4,993,541	1,857,729
定期健診収益	22,266,515	22,186,279	80,236
区健診収益	33,006,942	35,253,749	▲ 2,246,807
診療研究事業収益	136,761,718	139,509,762	▲ 2,748,044
診療報酬収益	128,776,831	132,524,409	▲ 3,747,578
自費収益	6,140,401	5,367,195	773,206
再検査料収益	323,393	329,210	▲ 5,817
精密検査料収益	1,521,093	1,288,948	232,145
健康増進普及事業収益	16,517,000	17,908,500	▲ 1,391,500
健康相談事業収益	16,517,000	17,908,500	▲ 1,391,500
④ 受取補助金等	1,689,297	2,897,594	▲ 1,208,297
受取補助金等振替額	1,689,297	2,897,594	▲ 1,208,297
⑤ 受取寄付金	300,000	209,191	90,809
受取寄付金	300,000	209,191	90,809
⑥ 雑収益	5,481,160	2,677,859	2,803,301
受取利息	0	115	▲ 115
有価証券運用益	4,914,763	2,194,454	2,720,309
債券2運用益	1,045,692	0	1,045,692
債券4運用益	3,869,071	1,998,564	1,870,507
債券5運用益	0	195,890	▲ 195,890
雑収益	566,397	483,290	83,107
経常収益計	662,285,795	618,776,736	43,509,059
(2) 経常費用			
① 生活習慣病研究事業費	677,770,230	717,435,749	▲ 39,665,519
役員報酬	16,406,700	27,276,300	▲ 10,869,600
給料手当	195,123,839	198,962,437	▲ 3,838,598
基準外給料	1,933,711	2,302,927	▲ 369,216
賞与	27,706,798	29,024,287	▲ 1,317,489
賞与引当金繰入額	14,389,230	20,204,257	▲ 5,815,027
役員退職慰労引当金繰入額	810,000	2,204,000	▲ 1,394,000
役員退職慰労金	266,400	0	266,400
退職給付費用	16,594,314	11,738,025	4,856,289
臨時雇賃金	31,977,259	25,597,809	6,379,450
福利厚生費	46,818,457	50,812,610	▲ 3,994,153
旅費交通費	9,299,008	9,316,682	▲ 17,674
研究研修費	2,796,519	3,186,777	▲ 390,258
交際費	786,891	877,476	▲ 90,585
通信費	2,937,045	2,942,618	▲ 5,573
什器備品費	485,087	655,678	▲ 170,591
割賦・機器リース料	12,659,723	18,658,788	▲ 5,999,065
リース支払利息	352,171	500,876	▲ 148,705
検査・材料費	51,315,777	53,147,802	▲ 1,832,025
薬品費	3,582,273	4,170,573	▲ 588,300
消耗品費	13,279,920	12,530,838	749,082
修繕費	19,824,651	20,495,450	▲ 670,799
印刷製本費	4,799,200	5,574,447	▲ 775,247
水道光熱費	6,887,632	6,821,453	66,179
借室料	97,253,021	97,253,021	0
業務委託費	7,228,947	10,980,436	▲ 3,751,489
保険料	356,451	304,576	51,875
租税公課	11,885,250	10,980,200	905,050
共益費	33,473,832	33,473,832	0
清掃費	1,996,207	1,997,521	▲ 1,314
雑費	5,983,657	4,832,310	1,151,347

科 目	当年度	前年度	増 減
巡回健診研究事業費	0	1,356,040	▲ 1,356,040
医学研究助成金	4,290,000	8,400,000	▲ 4,110,000
海外渡航助成金	2,500,000	1,800,000	700,000
助成金選考謝礼金	444,444	333,333	111,111
健康セミナー費	6,269,723	6,784,161	▲ 514,438
健診報告懇話会費	321,450	381,400	▲ 59,950
相談研究事業費	1,180,720	927,501	253,219
広報費	1,563,500	5,743,998	▲ 4,180,498
建物造作減価償却費	4,329,771	4,491,125	▲ 161,354
建物付属設備減価償却費	6,411,316	6,259,731	151,585
器具備品減価償却費	4,196,590	7,422,657	▲ 3,226,067
リース資産減価償却費	7,052,746	6,711,797	340,949
② 管理費	9,540,917	9,456,404	84,513
役員報酬	6,604,709	6,751,249	▲ 146,540
給料手当	613,302	556,880	56,422
基準外給料	0	82	▲ 82
賞与	107,839	110,212	▲ 2,373
賞与引当金繰入額	46,020	51,107	▲ 5,087
役員退職慰労引当金繰入額	90,000	0	90,000
役員退職慰労金	29,600	0	29,600
退職給付費用	32,686	30,975	1,711
福利厚生費	261,299	278,391	▲ 17,092
旅費交通費	54,413	59,548	▲ 5,135
会議費	214,892	97,360	117,532
交際費	35,901	49,449	▲ 13,548
通信費	27,521	24,156	3,365
什器備品費	1,758	3,616	▲ 1,858
割賦・機器リース料	77,901	80,607	▲ 2,706
消耗品費	67,362	61,606	5,756
修繕費	31,776	54,460	▲ 22,684
印刷製本費	36,854	27,590	9,264
水道光熱費	32,623	32,310	313
借室料	585,139	585,139	0
業務委託費	335,938	344,278	▲ 8,340
保険料	2,930	120	2,810
共益費	160,608	160,608	0
清掃費	9,293	7,979	1,314
雑費	80,553	88,682	▲ 8,129
經常費用計	687,311,147	726,892,153	▲ 39,581,006
評価損益等調整前当期經常増減額	▲ 25,025,352	▲ 108,115,417	83,090,065
特定資産評価損益等	45,557,200	25,356,700	20,200,500
投資有価証券評価損益等	54,627,000	▲ 7,166,000	61,793,000
評価損益等	100,184,200	18,190,700	81,993,500
当期經常増減額	75,158,848	▲ 89,924,717	165,083,565
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
① 過年度修正益	0	9,543,420	▲ 9,543,420
過年度修正益	0	9,543,420	▲ 9,543,420
② 受取寄付金	0	50,000,000	▲ 50,000,000
受取寄付金振替額	0	50,000,000	▲ 50,000,000
經常外収益計	0	59,543,420	▲ 59,543,420
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	59,543,420	▲ 59,543,420
当期一般正味財産増減額	75,158,848	▲ 30,381,297	105,540,145
一般正味財産期首残高	644,082,625	674,463,922	▲ 30,381,297
一般正味財産期末残高	719,241,473	644,082,625	75,158,848
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産評価益	5,275,783,152	3,047,926,536	2,227,856,616
基本財産評価益	5,275,783,152	3,047,926,536	2,227,856,616
基本財産有価証券評価益	5,275,783,152	3,047,926,536	2,227,856,616
② 一般正味財産への振替額	▲ 1,689,297	▲ 52,897,594	51,208,297
一般正味財産への振替額	▲ 1,689,297	▲ 52,897,594	51,208,297
当期指定正味財産増減額	5,274,093,855	2,995,028,942	2,279,064,913
指定正味財産期首残高	13,292,264,965	10,297,236,023	2,995,028,942
指定正味財産期末残高	18,566,358,820	13,292,264,965	5,274,093,855
III 正味財産期末残高	19,285,600,293	13,936,347,590	5,349,252,703